

学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

大学院

人間生活学研究科

人間生活学研究科では、別に定める修了要件を満たした学生に修士(家政学)・博士(家政学)の学位を授与し、以下の知識、能力、態度が身につけていることを保証する。

1.修士課程

人間生活について総合的な視野を持ち、専攻分野に関する高度に専門化された知識で生活研究者として研究を進めることができる。

高度の専門性を要する職業等に必要な高度で卓越した能力を身につけている。

知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養がある。

広い分野の知識を統合して、専攻分野の特定の問題に対する解決策を示すことができる。

2.博士課程

自立して研究を行うに十分な専攻分野に関する最先端の知識と人間生活に関する豊かな学識を持ち合わせている。

高度に専門的な業務に従事するに必要な高度な研究能力と豊かな学識を持ち、専門領域に関する問題解決のために取り組む態度を身につけている。

新たな概念の構築に対して、十分な学識と革新性、自律性、倫理観を持って積極的に参画しようとする態度を身につけている。

大学家政学部

生活科学科

生活科学科では、別に定める卒業要件を満たした学生に学士(家政学)の学位を授与し、以下の知識、能力、態度が身についていることを保証します。

生活科学科の教育目的を達成するために、ディプロマ・ポリシーを次の通り定めています。

1. 人間を護り、人間生活の向上と社会の発展を目指し、福祉・建築・生活のそれぞれの専門分野で、人文・社会・自然にわたる基礎的知識を総合的に用いつつ、それぞれの専門知識と技術を修得し、それらを活用できる。(知識・理解)
2. 高い教養と広範な専門性に基づき、広い視野に立って物事を柔軟かつ総合的に判断し、現代の福祉・建築・生活をめぐる諸課題を発見し、分析し、解決する能力を身につけている。(課題探求力・問題解決力)
3. 「建学の精神」—尊敬・責任・自由—により、人間として人格形成を志向し、自己の専門知識と技術を社会のために活かし、社会的責任を果たすことができる。(志向性、社会的責任)
4. 学修や実習などによる総合的経験や横断的思考力を活かして、地域社会における生活・福祉・建築に関する諸問題に新たな発想で取り組むことができる。(総合的な学習経験、創造的思考力)
5. 達成度評価については、GPA1.8 以上を基準値とする。(達成度の評価)

【社会福祉専攻】

1. 社会福祉や介護福祉、教育の3領域において、それぞれに必要な広範な専門的知識と技術を修得し、それらを応用できる。(知識・理解)
2. 基礎知識と専門的知識により、高齢者や障がい者(児)などを取り巻く社会環境を多面的かつ総合的に把握し、社会福祉および介護福祉をめぐる様々な問題に対処できる論理的思考力と問題解決へ導く能力を身につけている。(論理的思考力、問題解決力)
3. 他者を援助し、他者と協調できる人格形成を志向し、福祉を通して、社会的責任を果たそうとする態度と倫理観を身につけている。(倫理観、社会的責任)
4. 実習、地域交流活動、卒業研究などによる総合的経験と横断的思考力を活かして、地域の福祉をめぐる課題を解決する能力を身につけている。(総合的な学習経験、創造的思考力)

【建築デザイン専攻】

1. 建築分野において、一級建築士および二級建築士、その他の建築関係資格取得者として必要な広範な専門的知識と技術を修得し、それらを活用できる。(知識・理解)
2. 基礎知識と専門的知識により、住居や建築に関する問題を科学的根拠に基づいて論理的に思考し、解決できる。(論理的思考力、問題解決力)
3. 自然を尊重し、自然と共生可能な住環境の創造を志向し、人間と社会と自然の永続的存続と

いう社会的責任を果たすことができる。(倫理観、社会的責任)

4. 建築物の視察、建築現場の視察・研修、卒業研究などによる総合的経験を活かし、地域の建築が抱える課題を広い知性と新たな発想で解決できる能力を身につけている。

(総合的な学習経験、創造的思考力)

食物栄養学科

本学科所定の単位を修得し、以下の知識、能力等を身に付けた学生に対して卒業を認定し、学士(家政学)の学位を授与します。

1. 管理栄養士を目指して、十分に研鑽を積んでいる。
2. 栄養士として必要な知識・技能を有しており、自らの食生活に応用することができる。
3. 食、栄養や健康に関わる知識と技術を社会で応用できる。
4. 新しい IT 技術の習得やコミュニケーション能力の向上に務める。
4. 食と健康の専門的職業人としての責任感を養う。
5. 食品衛生の専門家(食品衛生管理者・食品衛生監視員、いずれも任用資格)として、食品の製造加工の過程における衛生上の管理と指導ができる。

短期大学部

健康栄養学科

学科の目的に鑑み、本学所定の単位を修得し、次の成果が得られた学生に卒業を認定し、短期大学士(家政学)の学位を授与します。

1. 食と健康の関わりについて科学的に理解する能力を修得している。
2. 健康的な食生活を実践するための基本的技術が身についている。
3. 食と栄養の専門性を発揮して、サービスの精神に基づいて社会に貢献する素養が身についている。
4. 論理的思考と倫理観によって、食と栄養に関わる諸問題に対処する能力を修得している。
5. 卒業要件を満たし、GPA1.6 以上を修めている。

幼児教育学科

幼児教育学科所定の単位を修得し、以下の知識・能力を身につけ、GPA1.5以上の学生に対して卒業を認定し、短期大学士(教育学)の学位を授与します。教育・保育の本質を理解し、保育者としての専門性を身につけている。専門性とは下記のとおりである。

1. 教育・保育を総合的に計画して実践できる能力を身につけている。
2. 多様な子どもを支援するための方法や技術を身につけている。
3. 教育・保育に関する課題や問題を解決する能力が育っている。
4. 幅広い教養を身につけ他者と関わる力を身につけている。
8. チャイルド・ミュージックコースにおいては、一定水準以上の音楽表現が身に付いている。

地域創成学科

「建学の精神」に基づく教育目的に従い、以下に掲げる知識や資質を身につけ、所定の単位を修得したGPA1.4以上の学生に対し、短期大学士(地域創成)の学位を授与します。

1. 身近な生活圏の歴史や文化を理解し、専門教育の実習を通して地域社会に貢献できる力を身につけている。
2. 個々の感性を生かす柔軟で応用力のある創造的思考力を身につけている。
3. 地域社会において柔軟に対応できるコミュニケーション力を生かしながら、現代社会の多様な課題を発見し、それらを自らの力で分析し解決する能力を身につけている。
4. 専門的知識を活用しながら論理的に課題を探究し、他者と協調し問題を解決していく主体的行動力を身につけている。

専攻科

文化学専攻

以下にかかげる知識や資質を身につけ、所定の単位を修得しGPA2.0 以上の学生に対して、本学が評価を行い、「独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構」が審査し、学士(文学)の学位を授与します。

1. 専門的科目において、専門的知識を修得している。
2. 専門的科目において、研究能力が身についている。
3. 研究課題を適切な歴史学のテーマに設定する知識が身についている。
4. 研究課題の成果である論文を論理的、創造的にまとめる力が身についている。
5. 歴史学を専攻する学士(文学)の学位を取得することで、社会教育の充実発展に寄与できる能力が身についている。

幼児教育学専攻

所定単位を修得し、独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構の最終試験に合格し、以下の知識・能力を身につけ、GPA2.0 以上の学生に対して修了を認定し、学士(教育学)の学位を授与します。

1. 専門的学識：社会や保護者のニーズに対応でき、幼児教育・保育に関する高度な専門知識を修得している。
2. 問題発見・解決力：多様化・高度化する幼児教育・保育の課題を自ら見つけ出し、調査・考察などに基づいて、問題を解決する能力を身につけている。
3. 社会貢献力：保育者としての責任ある行動をすることにより、他者と協働して幼児教育・保育の発展に積極的に貢献しようとする意欲・態度を身につけている。
4. キャリア形成力：保育者として教養のある幅広い知識を持ち、生涯にわたって幼児教育・保育への関心・情熱と学習意欲を持続することができる。